

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	イラク共和国アルビル州における小学校の教育環境の改善
(2) 事業の必要性 (背景)	<p>イラク北部の教育インフラは、1978 年から始まったイランイラク戦争と 1990 年の湾岸戦争、そして 2003 年のイラク戦争の三つの戦争の影響を受けたと同時に、1980 年代は旧フセイン政権によるアラブ化政策やアンファールキャンペーンによる村落の破壊や避難民の発生、さらに 1990 年代は国連決議と前中央政府による 2 重の経済制裁をうけたため、大きな被害を受けた。2003 年以降は、クルド自治政府教育省の指揮のもと、学校建設が進められているが、予算不足や人口の急激な増加により対応できていない地域が多い。</p> <p>本事業は、クルド政府教育省からの要請に基づき、アルビル州における教育環境について調査を始めた。アルビル州でも、現地行政により学校建設や修復、増築などが進められているが、急激な人口の増加により、地方だけでなく都市部の学校にも対応できていない。アルビル教育局の資料によると、アルビル州アルビル郡には、現在小中学校 354 校が登録されているが、その他にも、自分たちの校舎ではなく他の学校を間借りしている学校 (78 校) や、民家等を教室代わりに使用している学校 (4 校) がある。他の 2 郡 (ダスティハウレア郡とシャクラワ郡) も同様の状況で、民家等を教室に使用している学校数がそれぞれ 39 校と 32 校あり、早急な校舎の建設や増築が求められている。</p> <p>支援が必要とされる学校リストに基づき、実際に学校を訪問し調査を行った結果、訪れた 20 校以上の学校の中から生徒数が過剰で登録している生徒が通えていない学校や 3 交代制の学校、生徒の安全に影響のある施設、そして借り上げている民家の状態が特に悪い学校合計 7 校を本事業での対象として選定している。</p>
(3) 事業内容	<p>本事業では、以下 7 校の修復・改築、および増築工事を行う (詳細別紙 1 参照)。</p> <p>(a) アルビル市バハール地区ハンダ小学校： 6 教室の増築</p> <p>(b) ダスティハウレア郡アラブカンド村小学校： 3 教室の増築、既存校舎の修復、トイレ修復増築</p> <p>(c) シャクラワ郡シャウイス村ペイマン小学校： 4 教室の増築、トイレの修復増築、電気修復工事</p> <p>(d) シャクラワ郡シサワ村小学校： 4 教室の増築</p> <p>(e) シャクラワ郡マムジャルガ村小学校： 2 教室の増築、既存校舎の修復</p> <p>(f) シャクラワ郡シナワ村小学校：</p>

	<p>6 教室校舎の建設</p> <p>(g) アルビル市バダワ地区シャウネム小学校： 4 教室の増築、トイレの増築</p> <p>(h) 上記 7 校へ学校家具（机、イス、ホワイトボード等）の提供</p>
(4) 持続発展性	<p>本事業により修復や増築される校舎は、工事完了後にそれぞれの郡教育局に引き渡され、教育局予算のもと、各学校長が中心となり、教員と保護者、地域住民の協力を得ながら、維持管理される。維持管理の費用面では、2010 年度の実績では、教育局より 1 校あたり年間で 200,000 デイナール(約 200 ドル)の維持管理費が割り当てられていた。この金額は学校の維持管理に決して十分ではないが、多くの場合、不測の事態については住民の協力により解決されており、今後も校舎の管理運営における住民参加や住民からの協力が期待できる。また、本事業で、より多くの生徒が通うことにより、より多くの住民からの協力も期待される。</p>
(5) 期待される成果と成果を測る指標	<p>本事業により、以下生徒の教育環境が改善される。</p> <p>(a) アルビル市バハール地区ハンダ小学校 同学校敷地内に 2 階建て 6 教室を増築する。</p> <p>[期待される成果] 2010 年度に登録されながらも、教室数不足のため入学出来なかった約 200 人の生徒が、2011 年に入学し通えるようになる。また、現在 1 教室平均 40 人の生徒数を 30 人まで減らすことができる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 585 人、待機生徒約 200 人、職員 43 人 間接裨益者数：約 18,000 人（バハール地区人口）</p> <p>(b) ダスティハウレア郡アラブカンド村小学校 既存校舎の修復改築、3 教室の増築、トイレの修復増築を行う。</p> <p>[期待される成果] 交代制をなくし、安全で衛生的な教育環境が提供できるようになる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 230 人、職員 21 人 間接裨益者数：約 1,680 人（アラブカンド村人口）</p> <p>(c) シャクラワ郡シャウイス村ペイマン小学校 4 教室の増築、トイレの修復増築、電気修復工事を行う。</p> <p>[期待される成果] 教育環境が改善され、現在 1 教室平均 45 人の生徒数を約 36 人まで減らすことができる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 1,018 人、職員 53 人 間接裨益者数：約 18,000 人（シャウイス村人口）</p>

	<p>(d) シャクラワ郡シサワ村小学校 4 教室の増築を行う。</p> <p>[期待される成果]教育環境を改善し、交代制をなくすことができる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 315 人、職員 35 人 間接裨益者数：約 3,000 人（シサワ村人口）</p> <p>(e) シャクラワ郡マムジャルガ村小学校 2 教室の増築、既存校舎の修復（学校周りのフェンスの設置含む）を行う。</p> <p>[期待される成果]交代制がなくなる。また、教育環境を改善し、学校周りにフェンスを設置することにより生徒の安全を確保することができる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 140 人、職員 19 人 間接裨益者数：約 540 人（マムジャルガ村人口）</p> <p>(f) シャクラワ郡シナワ村小学校 6 教室の校舎（トイレ含む）を建設する。</p> <p>[期待される成果]教育環境が改善され、合同授業がなくなる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒数 50 人、職員 8 人 間接裨益者数：約 300 人（シナワ村人口）</p> <p>(g) アルビル市バダワ地区シャウネム小学校 生徒 907 人、職員 40 人 学校施設内のスペースに 2 階建て 4 教室及びトイレを増築する。</p> <p>[期待される成果]教育環境が改善する。また、2010 年度に発生した約 200 人の待機生徒が 2011 年度から学校に通うことができる。</p> <p>[成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒 907 人、待機生徒約 200 人、職員 40 人 間接裨益者数：約 42,000 人（バダワ地区人口）</p> <p>直接裨益者数計：生徒（待機生徒含む）約 3,645 人、職員 219 人 間接裨益者数計：約 83,520 人</p>
--	--